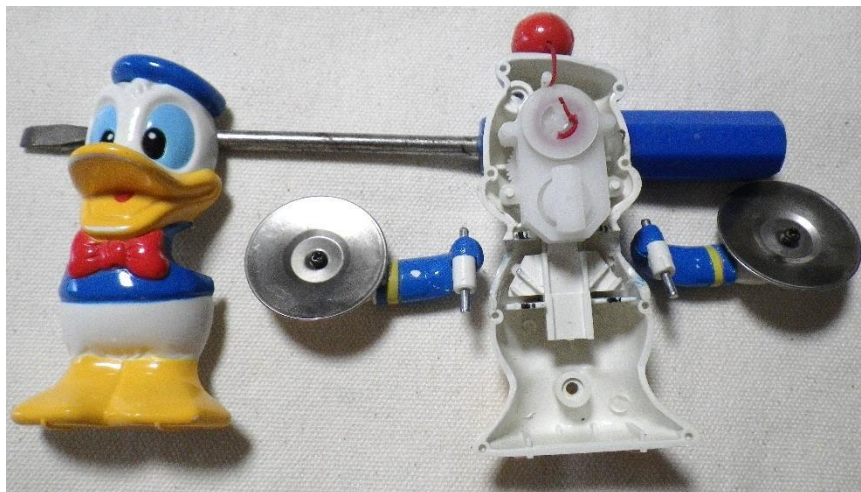


シンバルを叩く ドナルドダック

2018-07-01 ゆきや

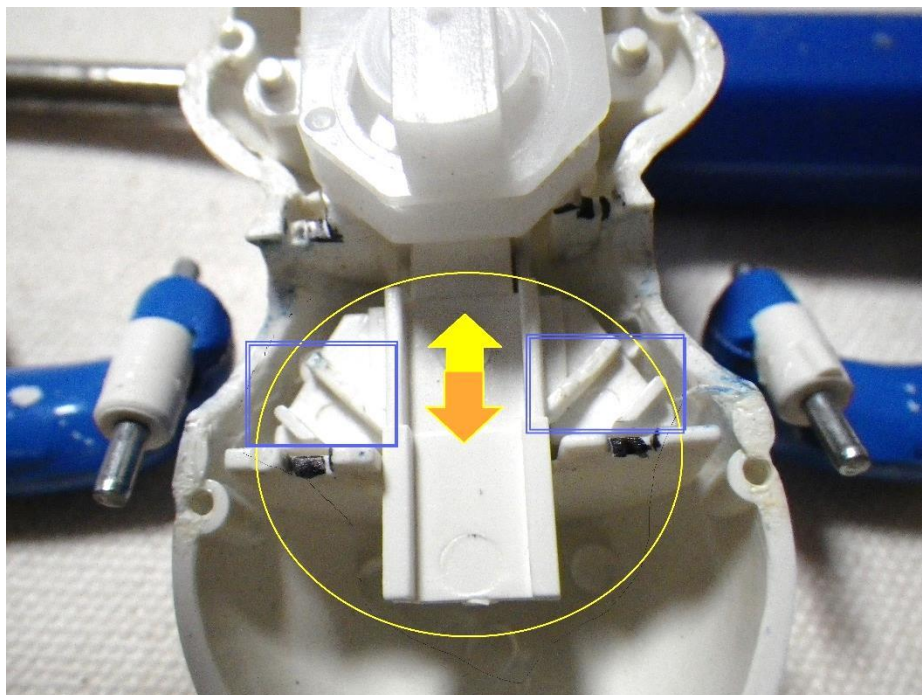
賑やかにシンバルを叩く筈が、動かなくなってしまいました。
分解すると写真右のような状態です。



頭の中にあるのが、ゼンマイを動力にしたメカです。これは正常に動きました。
赤い球を牽くとゼンマイが巻かれ、手を放すとゼンマイが解放されてメカを動かします。

黄丸印の部分は上下に往復します。それに左右の腕が連動し、シンバルを叩く筈ですが、
その間の部品が失われていて、動きません。果たしてどんな部品が、間をつないでいたのか？

観察すると、左右の青い四角で囲んだ、幅2mmほどの溝に気付きました。
メカが上下運動をすると、V字形の溝も上下します。その溝に、ホゾの様な突起物が挿して
あれば、メカの動きにつれて、左右に動くのではないのでしょうか？
上下運動が、溝と突起を介して、左右運動に変換されるのでは？





そう思って、腕の付け根を観察すると、
白い部分の中央に、直径2ミリほどの、癢痕がありました。

この癢痕は、両方の腕の、左右対称の部分に付いていて、
位置的にV字形の溝に正対します。

ここに突起があって腕を動かしていた。
それが、すり減ってしまったのではないのでしょうか？

突起は、溝との間隔・溝の深さから、2mmほどと推定されます。



そこで、痕跡の所に穴を開け、ホゾを作って差し込んでみました。

材料は焼き鳥の串を少し細く削りました。これならば丈夫ですし、
適度の柔らかさがあって、他を傷めないでしょう。

はめ込んでの試運転は思った通りに動いてくれました。
感動です。

溝と「元焼き鳥の串」には、たっぷりグリスを施して、
復元しました。

嬉しそうにシンバルを叩く、Donald Duckです。

